学校番号	３１０

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新情報Ⅰ　（実教出版）						
副教材等	30 時間でマスター Word＆Excel 2021（Windows11 対応）　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

皆さんが生活する「情報社会」では、情報の獲得と選択が重要です。多くの情報を獲得し、その中から適切な情報を選択することが成功のためには不可欠です。間違った情報に惑わされず適切な情報を獲得する方法を考えましょう。また、情報社会では多くの情報を獲得するだけでなく、ＳＮＳなどの発達により情報を発信する立場にもある。情報を情報伝達の特性を考えて、情報を発信する者として、他者の気持ちを考えるようにする。
さらに、ビジネスで活用できるワープロ、表計算、プレゼンの基本的なソフトウェアの活用方法を学び、将来のビジネススキルの向上を目指します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技術を習得する
【思考力、判断力、表現力等】様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し自身の行動を決定できる力を身に着ける
【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、日々進歩する情報技術を積極的に取り入れ、情報社会に主体的に参画する態度を身に着ける

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身に付けているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期4～5月	第1章　情報社会と問題解決	1　情報と情報社会 ・情報やデータ，知識の創出について学ぶ。また，社会の発展と基盤技術，新しい情報社会について理解する。 ・人工知能(AI)など新しい情報技術について理解し，どのような社会的課題を解決できるか考える。 ・情報の特性について理解する。 ・情報社会で守るべき情報のモラルやマナーについて理解する。また，情報化は，個人にどのような影響を及ぼしているか考える。	a: データ，情報，知識の意味と相互の関係について説明することができる。 情報の残存性，複製性，伝播性など，情報の特性について理解している。 b: SNS の活用など，不特定多数を対象としたコミュニケーションを行う際の注意点をあげることができる。 情報技術でどのように社会が進展してきたか，今後，どのような社会を目指しているか，事例を示して説明することができる。 c: ネット依存など，情報化が健康に及ぼす影響について考え，自らの情報活用について振り返り，改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物
		2　知的財産と個人情報 ・知的財産権について理解する。 ・　他人の著作物を適切に利用したり，自分の著作物を公開したりする方法を理解する。 ・個人情報とプライバシーについて理解し，それらを保護する方法を身に付ける。 ・サイバー犯罪とは何か，どのように対策すればよいかを理解する。	a：知的財産権の概要について説明することができる。 個人情報保護法で定められた個人情報や，日常的に扱う個人に関する情報とその管理について理解している。 b：他者の著作物を利用するときに，どのような権利について，どのような手続きを取る必要があるか判断することができる。 個人情報やプライバシーに関する問題について、周辺の事象と照らし合わせ、その改善点を考察することができる。 c：サイバー犯罪に関する情報や知識を自ら収集し，適切なパスワードの使用など，より安全な方法でネットワークを利用しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物

		3 問題解決 ・問題解決の手順，および問題発見の方法について理解する。 ・様々な情報技術について理解し，課題解決の方法をについて考える。	a：問題や問題解決の意味，問題解決の手順について理解している。 b： 問題の発見のための現状把握の方法について，例をあげてその方法を説明することができる。 c： 試行錯誤しながら，粘り強く問題の発見・解決に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	 提出物
		ワープロソフトの活用 ・漢字、カタカナ、英語など多様な文字を区別して入力できるようにする。 ・文書の書式を適切に変更できるようにする。 ・簡単なビジネス文書の作成を行う。	a: 漢字、カタカナ、英語など様々な種類の文字が入力できるようになる。 b: 文書の書式を適切に変更できるようになり、簡単なビジネス文書（表を含まない）が作成できる。 c: ワープロソフトに興味を持って参加しようとしているか。	実技テスト 提出物	実技テスト 提出物	提出物
一学期 6～7月	第2章 コミュニケーションと情報デザイン	1 メディアとコミュニケーション ・メディアの機能や分類について理解し，メディアの発達について知る ・メディアの特性について理解し，目的に応じたメディアを選択することができる。 ・コミュニケーションの形態には違いがあることを理解する。 ・インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。	a:メディアの種類と特性について理解することができる。 電子メール，SNS など，インターネットを利用する各種メディアとその特性について説明することができる。 b:伝達する情報に応じて適切にメディアを選択することができる。 情報メディアや表現メディアを活用し，主体的に情報を発信することができる。 情報の信憑性や信頼性について吟味し，情報の真意を読み解くことができる。 c: 情報メディアや表現メディアを活用し，主体的に情報を発信することができる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	 提出物

		2 情報デザイン ・社会の中で利用されている情報デザインについて理解する。 ・情報を分類したり，わかりやすく表現したりする方法について理解する。	a: 情報バリアフリー，ユニバーサルデザインの意味と目的について説明することができる。 情報をわかりやすく伝達するためのフォントや文字の工夫，図解の表現，表やグラフ，配色の工夫，カラ―バリアフリーなど，基本的な方法を理解している b: 効果的なコミュニケーションや問題解決のために，主体的に情報を整理したり，わかりやすく伝達したり，操作性を高めたりすることを身につけている。 c: 効果的なコミュニケーションや問題解決のために，主体的に情報を整理したり，わかりやすく伝達したり，操作性を高めたりする努力をしようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物
		3 情報デザインの実践 ・報告書やレポート，論文を作成するための手順について理解する。 ・プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。 ・Webページ作成の方法について理解する。	a: レポートや論文の基本的な構成について理解している。 プレゼンテーションの計画，流れについて説明することができる。 情報を公開する目的で，HTMLを使ってWebページを作成することができる。 b:文書作成の際に、レイアウトや書式を考えることができる テーマに沿ったスライドを作成して効果的な説明することができる。 c: わかりやすい報告書やレポートを作成するため，文書の構成やレイアウトを工夫し，評価に基づいて改善しようとしている。	定期考査 実技テスト 小テスト	定期考査 実技テス 提出物	提出物
		ワープロソフトの活用 ・表の編集を行う ・簡易地図などの簡単な図の作成を行う ・図や表を含む複雑なビジネス文書の作成を行う。	a: 表の編集が適切にできるか 図形描写を活用して、簡単な地図が作成できるか b: 複雑なビジネス文書（図や表を含む）が作成できるか c: ワープロソフトに興味を持って参加しようとしているか	実技テスト 提出物	実技テスト 提出物	提出物

二学期　８～１０月	第3章　情報のデジタル化とコンピュータ	1　情報のデジタル表現 ・アナログとデジタルの違い，2 進数と情報量の関係について理解する。 ・数値や文字、音声や静止画などをデジタルで表現する方法について理解する。 ・情報のデータ量の計算とデータ量を小さくする方法について理解する。	a: アナログとデジタルの違いを理解する 2 進数・10 進数・16 進数を相互に変換することができる。 音声の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 画像の情報をデジタル化するための原理を説明することができる。 b:音声や画像の情報を目的に応じて適切にデジタルで表現できる。 c: 数値・文字・音声・画像などのデジタル化の仕組みに関心を示し、これらのデジタル化された情報を主体的かつ適切に取り扱おうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物
		2　コンピュータの仕組みと動作 ・コンピュータの構成や動作，情報機器の接続，ソフトウェアの種類について理解する。 ・コンピュータでの数値の計算方法について理解する。 ・コンピュータの演算の仕組みを理解する。	a: コンピュータの構成や計算の仕組みを理解し、ハードウェア、ＯＳ、応用ソフトウェアの関係を説明できる。 2進数の計算を行うことができる。 b: インタフェースの意味や酒類について、例をあげて説明することができる。 c:スマートフォンなどの身近な情報機器について性能の向上や発展的な活用の方法を考えようとしている。。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物

	第5章　情報通信ネットワークとセキュリティ	1　情報通信ネットワーク ・情報通信ネットワークの構成について理解する。 ・ネットワークを効率的に利用するための取り決めについて理解する。 ・IP アドレスとドメイン名について理解する。 ・Web ページとメールの仕組みについて理解する。 ・ネットワークを通じてデータを効率よく転送する工夫について理解する。	a: 通信方式の種類やその違いについて理解している。 インターネット通信の階層構造，各プロトコルの働きについて理解している。 IPアドレス，ドメイン名，ルーティングの基本的な仕組みや働きについて理解している。 b: 目的に沿って，LAN を構成する情報機器の接続を適切に考えることができる。 目的に応じて，適切にインターネットのサービスを選択して利用することができる。 c: インターネットの仕組みやサービスに興味・関心を持ち，問題の解決に向けて，個人あるいはグループでネットワークの活用について検討しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	 提出物
		2　情報セキュリティ ・脅威に対する様々な安全対策について理解する。 ・情報セキュリティを確保する方法と技術について理解する。 ・情報を安全に取り扱うための技術について理解する。	a: 情報セキュリティの3要素について説明することができる。 情報セキュリティポリシーの概要や意義について説明することができる。 マルウェアに感染しないようにするための対策と，感染したときの対応手順について理解している。 b: 情報セキュリティへの脅威の具体例と，その脅威を引き起こす要因ついてあげることができる。 デジタル署名や電子認証などの情報技術は，どのような問題を解決するための技術か，具体的に事例をあげて説明することができる。 c: 自らが管理している情報機器の情報セキュリティに関するリスクを軽減するための方策を考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	 提出物

		表計算ソフトの活用 ・様々な形状の表の作成を行う ・四則計算を活用した表を作成する ・合計や平均などのよく使う関数を活用した表を作成する ・簡単なグラフを作成できるようになる。	a: 表の書式が変更できるか。関数や式を活用した表が作成できるか。グラフが作成できるか。 b:状況に応じて必要な操作を選択することができる。 c: 表計算ソフトに興味を持って参加しようとしているか。	実技テスト 提出物	実技テスト 提出物	提出物
二学期　11～12月	第6章　問題解決とその方法	1　データの活用 ・データを収集したり，整理したりする方法について理解する。 ・表計算ソフトの活用方法について理解する。 ・データを適切なグラフや図に表現する。。 ・データ分析の手法について理解する。	a:オープンデータの利用や標本調査の方法について理解している。 表計算ソフトでの基本的な処理技術を身に付けている。 b:問題解決の目的や条件にしたがって，表計算ソフトの関数を適切に適用してデータ処理を行うことができる。 c: 問題解決のため，表計算ソフト等を用いて収集した情報を処理したり，グラフで可視化したりすることに興味を持っている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物
		2　モデル化とシミュレーション ・モデル化の意味・分類・モデル化の手順について理解する。 ・シミュレーションの手順と方法について理解する。 ・	a: モデル化およびシミュレーションのについて説明できる。 モデル化の基本的な手順について説明できる。 b: モデル化およびシミュレーションが，社会の問題解決でどのように利用されているかを例をあげて説明することができる。 コンピュータを活用して，現実の問題解決のために行うシミュレーションの活用事例をあげることができる。 c: 現実の現象についてのモデル化に関心を持ち，自ら進んでモデル化を試みるなど，主体的に学習に取り組んでいる。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	提出物

		3 シミュレーションの実際 ・格定的モデルのシミュレーションを行う。 ・確率的モデルのシミュレーションを行う。 ・問題解決のために，モデル化とシミュレーションを活用する。	a: 待ち行列の事例をモデル化して，来客が増えるについて，待ち時間がどのように変化するか求めることができる。 b: 客の到着時間と待ち時間，サービス時間を棒状のグラフに示し，待ち行列のシミュレーションをグラフで表現することができる。 c: 店舗の待ち行列など，具体的な事象のシミュレーションに関心をもち，シミュレーションを用いた問題解決について意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	 提出物
		表計算ソフトの活用 ・様々な形状の表の作成を行う ・四則計算を活用した表を作成する ・仮定や表検索のような業務で活用できる関数を学習し、複雑なワークシートの作成を行う。 ・複雑なグラフを作成できるようになる。	a: 関数が理解できるか。複雑なグラフを作成できるか。 b: 複雑なワークシートが作成できるか。 c: 表計算ソフトに興味を持って参加しようとしているか。	実技テスト 提出物	実技テスト 提出物	提出物
三学期 1 ～3月	第4章 アルゴリズムとプログラミング	1 アルゴリズムとプログラミング ・アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・プログラミングの手順とプログラミング言語の種類とその特徴について理解する。	a: アルゴリズムとプログラムについてそれぞれ説明することができる。。 プログラミングの手順(設計→コーディング→テスト)を理解している。。 b: 簡単なアルゴリズムを，箇条書きで表現できる。 簡単なアルゴリズムを，フローチャートで表現できる。 c: アルゴリズムやフローチャート等の表記に，興味や関心を示している。	定期考査 小テスト	定期考査 提出物	 提出物

		2 プログラミングの実践 ・変数を使用したプログラムを作成する。 ・関数を使用したプログラムを作成する。 ・多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。	a: 変数を使用して分岐構造や反復構造のプログラムを作成することができる。 関数を使用して，簡単なユーザ定義関数を作成することができる。 b: 関数を活用したプログラムを設計し，わかりやすく効率的なプログラムを作成できる。 c:プログラミングに興味を持ち、主体的にプログラム作成を行うことができる。	定期考査 実技テスト 提出物	定期考査 実技テスト 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度